

凌雲台

ふるさとに笑顔広げる 龍野っ子
～笑顔 元気 感謝 安全～

龍野小学校学校便り
第40号
令和4年11月17日
文責：校長 大江律子

ドラ・パト隊のこと調べています。3年生

3年生では、総合的な学習の時間に「龍野のたからをさがそう」という学習に取り組んでいます。

14日、ドラ・パト隊の北川会長と市下さんを学校にお招きしてドラ・パト隊のことについて話を聞きました。ドラ・パト隊が2008年に発足したことや200人以上の人が隊員であることや、ドラ・パト隊で活動される思いなど詳しく話を聞きました。話を聞いた後、たくさん質問をしました。子供たちはたくさんのお宝を発見しました。これから学んだことをまとめていきます。



おいそがしい中、北川会長、市下さん、お世話になりました。ありがとうございました。

(子供たちのお礼の手紙から)

*今日はドラ・パト隊のことを説明してくださり、ありがとうございました。今日の説明で、どんな気持ちでかつどうしているのか、たいへんだなあと思うことが分かりました。服の色が緑色の理由は、あんしんさせる色だとはじめて知りました。また、毎日一時間たっていることもはじめて知りました。ドラ・パト隊の人に会ったら、大きな声であいさつをします。ありがとうございました。

*今日は、ドラ・パト隊のことを説明してくださり、ありがとうございました。いろいろなことを話してくださいました。私も大きくなったらドラ・パト隊をして、子どもたちをえがおにしたいです。市下さん、北川さん、来てくださってありがとうございました。たつのちくのぼうはんパトロール隊だということがわかりました。

*ぼくはドラ・パト隊のかっこいいと思いました。なぜなら朝早くたって下さっているからです。あつい日もさむい日もたつてくれているのがすごい、かっこいいと思いました。ありがとうございました。

命のつながり・大切な命

15日、4年生では、各地で命の授業に取り組まれている北海道の板本りつさんをお招きして、お話を聞きました。板本さんは、「いのちのまつり」「つながっている」の作家である草場一寿さんなどと一緒に活動されています。板本さんの絵本の読み聞かせのあと、命について話を聞きました。また、甲斐先生の赤ちゃんのころの写真や両親、祖父母の写真を見せていただき、命のつながりを考えました。だれ一人でもかけたら命はつながらないこと、今ここにいないことを考えていきました。



板本さんから、4年生の子供たちが素直に反応する姿、話の聞き方など、素敵な子供たちでいっしょに授業できてよかったという感想をいただきました。子供たちは、命のつながり、これから自分も命のバトンをつないでいくことなど考えた貴重な1時間になりました。

板本りつさん、4年生のために来ていただき本当にありがとうございました。

(お礼の手紙から)

*命のじゅぎょう、ありがとうございました。初めて知ったことは、一人でもご先祖さまがいなかったらお母さんもお父さんもないということです。かんたんに死ぬとかも言わない方がいいと思います。私は、死にたいとか思ったこともなかったから、これからは思わないようにしたいです。りっちゃんとの授業はとても楽しかったです。これからはこの学習をいかしていきたいです。りっちゃんとまた勉強をしたいし、会いたいです。遠いところから来てくださって、ありがとうございました。

*りっちゃん、この前命のじゅぎょうをうけて、命に対する思いが変わりました。最初、「命はたからものだけど、生きかえるもの」と思っていました。でも、りっちゃんのじゅぎょうを受けて、「命はたった一つ。命のバトンは必ずバトンをわたさなきゃ。」という思いが変わりました。これからは命を大切にしていきます。

子供たちは、多くのであいの中でたくさんのお宝を考えたり気付いたり学んだりしています。貴重なお話は子どもたちの心を揺れ動かし、たくさんのお宝をまいてくれます。龍野小では、これからもいろいろな方とふれあう活動を大切にしていきます。